2024年　看護職員の負担軽減及び処遇改善に関する取り組み計画

	2023年度までの取り組み		2024年計画
ア．業務量の調整	①フロアー・ブロックでの応援態勢 ②夜間休日は夜勤師長による業務調整 ③業務整理　2022年　IPADによる患者指導 2023年　音声入力一部導入 ④中材業務/手術室清掃業務委託化（2023年）		①外来→外来処置室運用・化学療法室配置数調整 ③音声入力一部導入 ③手術室業務の効率化→手術曜日枠設定
イ．看護職員と他職種の業務分担	薬剤師	①病棟薬剤師配置・持参薬対応 ②入退院センターでの抗凝固薬相談 ③アンプルピッカー導入 ④配薬車一部導入	・入院前持参薬整理の推進 ・内服薬一包化推進 ・配薬車導入拡大
	リハビリ技師	①１０ABに言語聴覚士配置 ②吸引手技研修・実施	・休診日のリハビリテーション検討 ・心臓リハビリテーションの実施
	放射線技師	①検査室の酸素付け替え研修・実施 ②造影剤ルート確保(2023年)	・造影剤ルート確保推進
	臨床工学技師	①呼吸器装着患者ラウンド ②病棟機器メンテナンス	・手術室業務検討（ロボット手術への関与）
	検査技師	①化学療法患者の優先採血 ②自己血採血実施（2023年）	・入院患者採血の検討
	管理栄養士	①病棟担当管理栄養士配置	
	その他	①薬剤メッセンジャー休日麻薬の返却 ②修理物品の回収ラウンドの実施 ③中材業務委託化・手術室清掃業務検討 ④医療メディエーター配置	
ウ．看護補助者配置	①ベッド隊・搬送隊・衛生隊の設置 ②技能実習生導入 ③平日夕方・土日の夜勤学生アルバイト雇用（2023年）		・夜勤看護補助者派遣導入検討 ・学生アルバイト雇用促進
エ．短時間看護師の活用	①病棟配置促進 ②短時間勤務者夜勤勤務推進		②短時間勤務者夜勤勤務推進
オ．多様な勤務形態の導入	①夜勤→日勤への変更可能（1ヶ月単位） ②夜勤態勢の2つのパターン導入・新シフト導入（2023年） ③シフト記号の多様化（早出・遅出）		・新シフト導入後の業務評価
カ．妊娠などによる看護職員に対する配慮	①夜勤免除　②他部署への配置転換 ③産休・育休者に対する面接ガイド作成		
キ．夜勤負担軽減	①専任夜勤師長による相談調整機能 ②看護補助者の遅出シフト21時まで追加 ③平日夕方および土日の夜勤学生アルバイト雇用		・学生アルバイト雇用促進